

マーケットの動き（2026年2月9日～2月13日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

週前半は、半導体株やソフトウェア株などに買いが入り、NYダウは最高値を更新しました。週後半にはAI（人工知能）による既存ビジネス構造の変革への懸念が強まり、ソフトウェア関連銘柄をはじめ、物流関連や金融株などにも売りが波及したことで株価は下落しました。

欧州株式市場は、前週末比で上昇しました。

投資環境見通し（2026年2月）

外国株式相場は、米国、欧州ともに底堅く推移

企業業績については、依然として底堅い景気動向を背景に、当面は悪化に対する不安は小さいとみています。米国株式相場は、同国政府の対外政策による地政学的な不安や関税政策を巡る先行き不透明感を背景に、変動率の高い展開が予想されます。ただし、景気は底堅く、FRB（米国連邦準備制度理事会）による利下げ余地を勘案すれば、当面の下値は限定的で次第に底堅く推移するとみています。欧州株式相場は、米国政府の対外政策やグリーンランド領有を巡る米国との対立などの外部環境から変動率の高い展開が予想されますが、域内諸国の財政拡張姿勢に支えられ、米国株式相場と同様に当面の下値は限定的で次第に底堅く推移するとみています。

	2月13日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,836.17	▲1.39%	▲1.83%	5.72%	11.79%
NYダウ	49,500.93	▲1.23%	0.63%	10.19%	10.71%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202602_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2025年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成